

## シャードとファセット

シャードとファセットはキャラクターが生活をする場となる世界そのものを表す言葉です。ログインする時には、必ずまずシャードを選びますよね。そして、シャードそれぞれにファセットが存在します。これらがどのようなものなのか説明しておきます。

### 色々なシャード

UOの舞台となる世界は、シャード (shard: 破片) という単位で完全に区切られています。モンデインにより宝珠の中に封じられていたソーサリアという世界が、モンデイン打倒時に割れて無数のかけらになった、というバックボーンがこの言葉を生んでいます。かけらの中にはそれぞれ別個のソーサリア世界が根付いている、という考え方です。

現在、名前がはっきりしているシャードは以下のようになっています。

#### 日本 (一般シャード)

Asuka (飛鳥)、Yamato (大和)、Wakoku (倭国)、Hokuto (北斗)、Izumo (出雲)、Mizuho (瑞穂)、Sakura (桜)

#### 日本 (ハードコアシャード)

Mugen (無限)

#### 韓国 (一般シャード)

Arirang、Balhae

#### 台湾 (一般シャード)

Formosa

#### オーストラリア (一般シャード)

Oceania

#### ドイツ (一般シャード)

Drachenfels、Europa

#### アメリカ (一般シャード)

Atlantic、Pacific、Great Lakes、Lake Superior、Baja、Napa Valley、Sonoma、Catskill、Lake Austin、Legends

#### アメリカ (ハードコアシャード)

Siege Perilous

#### アメリカ (少々特殊な一般シャード)

Origin

#### 一般シャード

ゲームにログインした時、最初に選ぶのはこのシャードです。多くのシャードが存在しますが、このうち日本の一般シャードは、Yamato(大和)・Asuka(飛鳥)・Wakoku(倭国)・Izumo(出雲)・Hokuto(北斗)・Mizuho(瑞穂)・Sakura(桜)の6つになります。

もちろん、他のシャードを選ぶことも可能ですが、日本人の数は少なめであること、ネットワーク通信速度にハンデがあることを覚悟する必要があります。時折、海外プレイヤーらしき人が日本シャードで活動していることもあります(私は何度か英語で話し掛けられた事があります)。

#### ハードコアシャード

ところで、日本シャードと呼ばれるものには、もう一つ「Mugen(無限)」というのがあります。このシャードは非常に特殊で、ヤングアカウントではログインできないようになっています。な

ぜなら、このシャードはハードコアルールで動いているからです。

どのようなシャードなのかは、上記のリンクを辿って御確認ください。

### テストセンター

もう一つ、UOには不定期で出現し、不定期で消滅することもあるシャードがあります。それがテストセンターと総称されている試験用のシャードです。仕様変更の影響の動作確認とか、ハロウィンなどの特殊イベント用(そのシャードでしか有効でない特殊ルールが付いたりする)など、何らかの目的のために起こされます。シャード名は、その時によって様々なものになりますが、典型的なテストセンターは「TC」という文字が入るはずで。

テストセンターは目的が果たされたら消滅もします。だから恒久的にキャラクターを残すということは難しいのですが、テストセンター固有の特殊なコマンドが使えるようになっており、様々な仕様の実証などに使われます。家が上手く建つかどうかのテストにも使えます。

どんなシャードで、どんなコマンドが使えるのかについては、上記のリンクを辿って御確認ください。

### 色々なファセット

次にそれぞれのシャードに存在しているファセットにどのようなものがあるのか御紹介しましょう。

ファセット (facet:( 宝石などの ) 面) とは、1つのかけらに見られる幾つかの面・・・という意識です。それぞれの面には固有の世界が存在していると言うわけですね。ここでは、各ファセットの特徴や成り立ちについてまとめてみました。

### トランメル

若干、順番が前後しますが、多くのUOプレイヤーが最初に降り立つファセットは、このトランメルでしょう。度重なるPKなどのネガティブ行為で世界は荒廃し、レディ・ミナクスによる侵略を受けたのに対し、ロード・プリティッシュは、新たに発見された世界の断面 "トランメル" に住人を脱出させることを決意、ここに "フェルツカ" と "トランメル" という似て非なる世界が共存することとなった・・・という背景があります。

この2つの名前は、ブリタニアに浮かぶ2つの月の名前だったりします。本来 常設のムーンゲートは、この2つの月の満ち欠けによって行き先が変わる、というものだったのですが、今は自由な行き来が可能になっていますね。

ニューヘイヴン (New Haven) という町があるのはトランメルだけです。元々、初心者向けの街・・・ということで、ヤングさんしか入れない街だった (ヤングが取れると放り出された) のですが、現在は誰でも出入りできるようになっており、色々と問題視されることもあります。

なお、かつてのヘイヴンは廃墟と化し、その西に新たな街が出来ています。これがニューヘイヴンで、常設ムーンゲートに入った時のゲート名にも "ニュー" が付記されました。

トランメルではネガティブ行為が基本的に不可能になっています。少なくとも、PKや盗みに警戒する必要はありません。また、自由に他者を跨げるので、特に戦闘では逃げるのが簡単になっているともいえます。フェルツカを除く他のファセットも、このトランメルルールとなっています。

トランメルは "T" とよく呼ばれます。

## フェルツカ

既に有名な話ですが、UO といえばネガティブ行為が可能なゲームでした。つまり、他プレイヤーを殺して所持品を奪ったり、殺すまではしなくてもこっそりと鞆からアイテムを掠め取ったりすることが規則的に可能になっていました。現在の UO で、ネガティブ行為が可能な世界は、このフェルツカだけになっています。ですから対人戦 (PvP) といえば、ここで行われるのが基本となります。

トランメルとフェルツカは鏡に映したような世界とされていますが、フェルツカでは外に出たとき樹が枯れ木になっていたり、そこかしこに墓石があったりします。また初心者の街とされるヘイヴン (Haven) はトランメルにしかなく、フェルツカでは同じ場所がオクロー (Occllo) という別の街になっています。

現在、フェルツカのダンジョンはチャンピオンエリアとなっていて、パワースクロールやステータススクロールを入手するためには必ず赴く必要があります。

また、フェルツカでは「伐採」で手に入る log(丸太)・「採掘」で手に入る ore(鉱石)・死体に刃物を当てて入手する hide(皮)や feather(羽)、羊から入手する wool(羊毛)がトランメルの2倍手に入るようになっているため、生産に携わる人も資材集めのために危険を覚悟で訪れることが多い世界です。

フェルツカを歩く時に一つだけ注意しなければならないのは、スタミナがフルでなければ他クリーチャー(モンスターだけでなく PC・NPC など全てを含みます)を跨げないこと、跨いだらスタミナが減ること(つまり一度跨ぐと、回復するまで他を跨げません)、です。だから、スタミナが減っている時は例えモンスターであっても通り抜けられません。普通にダメージを受けるだけでもスタミナは減りますから、モンスターと戦う時も気を配る必要があります。スタミナが減った状態で四方を囲まれると移動できなくなりますが、これは「BOX」と呼ばれて集団戦で重要な戦術となります。

ヤングキャラクターはフェルツカには行けないようになっています。これは初心者を危険から守るための安全策ですね。また、Gate Travelの魔法でフェルツカと行き来するゲートを出した場合、その色は赤くなります。何も考えずに赤いゲートに飛び込むのはやめた方が良いでしょう。・・・もっともゲートが青いからと言って、そこが安全と言う保証はありませんけどね・・・。

フェルツカは "F" とよく呼ばれます。

## ロストランド

UO の最初の拡張である UO:T2A では、隠された世界が発見された、ということで「ロストランド」という土地が追加になりました。オスタードは元々ここでしか騎乗できない生物だったらしいですね。

ロストランドに行く方法は、幾つかあります。ブリティン地下道、ムーングロウの魔法屋の魔法陣、トリンシック洞穴、ベスパー墓地の地下道、海上のサーペントピラー、ファイヤ(ダンジョ

ン)、アイス(ダンジョン)など、全部で12箇所の道があります(常設ムーングートでは行けません)。これを辿る道は、なかなか冒険チックなので経験が無いなら、一度はチャレンジするのをお勧めしたいですね。全ての道の場所も、上のリンク先でまとめています。

ロストランドでは、最近ブリタニアに侵攻して来た オフィディアン(蛇族)とテラサン(蜘蛛族)が争っています。どうやらオフィディアンの方が優勢のようですが、今後どうなるかは、現時点ではまだまだ不明です。彼らはフィールド上で出会ったら勝手に交戦しますが、そこにPCがこのこ現われると、それまでの遺恨を忘れてPCをタゲってきますので、用心しましょう。

ちなみに「UO:T2A(セカンドエイジ)」という拡張で出現したため、「T2A」と呼ばれることもあります。つまり、世界がトランメル/フェルツカに分割される前・ネガティブ行為が全域で可能だった時期に出現したエリアということです。このためでしょうか、トランメル/フェルツカのそれぞれにロストランドは別々に存在します。

トランメル/フェルツカからロストランドに行く方法についても、上のリンク先でまとめていますので、ちょっとした冒険気分を味わいたい時などにどうぞ。

## イルシェナー

そして次に発見されたのは「イルシェナー」でした。ここに至るムーングートには、八徳の名前が冠せられており、アंकもすぐ傍にあることから蘇生に便利なポイントだったりします。それはそれとして、このファセットは家を建てるのが全面的に禁止され、Markもできません。だから、目的地があるなら否応無しに歩かなければなりません。容赦ないモンスターの襲撃を受ける危険なポイントも多いので要注意です。

イルシェナーでは、全てのクリーチャーがパラゴン化する可能性があります。パラゴンになると、色が金色になり、全ての能力が上昇します。古代竜こと ancient dragon や、黒閣下こと balron が金色になると、正直泣きたくなることでしょう。そんなパラゴンモンスターを倒すことで、パラゴンボックスと呼ばれる宝箱や、マイナーアーティファクト(MAF)を手に入れる可能性があり、これを目指してイルシェナーに赴く人が今もいます。

またガーゴイルの街がイルシェナー中央部にあり、ここは普通に拠点と出来るほか、ガラス細工や石細工の技術を私達に伝えてくれます。「錬金術」「大工」「採掘」がGMになった暁には、一度は訪れたい街です。その付近にあるエクソダスも幾つかのクエストなどで訪れる機会があります。

イルシェナーでは他に、ジュカ族とミーア族という人々が生活しています。ミーア族は青ネームなので、マイナスカルマでなければ襲われることはありません。ガーゴイルなども含めて、これらの種族は過去の大きなイベント(EWE:Eight Week Event)により登場しました。

この長期間にわたってクライアントパッチによる新要素をどんどん加えながら進行する「EWE」は今も評価が高く、またやって欲しいという声がいまだに絶えません。オフィディアン侵攻などは、割とこれに近い感じかもしれませんね。

イルシェナーは「I」とか「イル」とか略されることが多いです。

## マラス

UO世界に大きな激震が走ったときに、発見されたのが暗黒の大陸"マラス"です。星空を背景に浮かんだ大陸・・・というイメージで、パラディンとネクロマンサーが争う世界・・・のはずです(笑)。かなり広大な土地が広がり、住宅地となっている世界でもあります。

2つのムーングートは、マラスにある2つの街に通じるものです。どちらも比較的狭い範囲に施設が集まっていて使い易かったりします。

マラスはブリタニアとはまた一味違う趣向の世界ですが、何と言っても"DOOM"の存在が大きく知られているでしょうね。ここはUO世界で最も危険なダンジョンとも言われ、その奥底には強大なボスモンスターが現れます。主にこれを倒して得られるアーティファクトを目指して、今日もDOOMに罅る人たちがいることでしょう。

マラスは"M"と略されることが多いです。

## 徳之諸島

一番最新のファセットは、"徳之諸島"です。ブリタニアなどとは全く異なる文化の中で形成された独自の世界と独自の生態系を持ったファセットです。唯一の都市である禅都がある誠島は比較的安全ですが、誉島・勇島はムーングートを出た瞬間から危険なモンスターに襲われる可能性がありますので、向かう場合は十分に御注意下さい。

ここにしかないrune beetleやfire beetle、hiryuなどのモンスターをタイムしたり、ファンダンサー道場やヨモツ坑道(fire beetleはここにいます)に宝を求めて向かう人もいますね。

"T"だとトランメルと区別が付かないからでしょうか、"トクノ"と略されるのをよく見かけます。まあ"T"でも区別が難しいということはないでしょうけどね。

## エルフたちの街

ファセットではありませんが、ユーの中心部にあるPortal of Heartwoodを通ると、そこは樹上の町ハートウッドとなります。ここはエルフたちの街であり、様々なクエストをエルフたちから受けられます。

生産系のレシピや「織成呪文」を求める場合、基本的にここに向かうこととなります。ただ、エルフたちにも様々な考え方の人たちがいるらしく、ハートウッドと同時に出現したダンジョン"サンクチュアリ"の奥にも、エルフたちが住んでおり、ハートウッドと同じように幾つかのクエストを受けられます。

---

---